



## 図書館内装の木質化工事を進めています。

今年10月より、池田高校図書館（図書室・司書室）の内装を、岐阜県産材を使用して木質化する工事を進めています。7月中に図書館内の全ての蔵書を全校生徒の手で他の教室に移動してもらいました。今年12月末には工事が終了する予定です。

工事概要は、床フローリングには栗、図書館入口・司書室ドア・柱・壁にはヒノキ、カウンター・掲示板・掲示台・書架・雑誌架・ブックレット棚・掃除道具入などの建具や家具もヒノキを用いて作ります。同時に、コンセントなどの電気工事を行い、パソコンなど利用しやすい環境を整えます。



岐阜県では木材産業の振興と県産材の利用拡大を通して、適切な森林資源の循環利用を促進し、森林が持つ多様な機能を十分に発揮できることを目的として、公共施設の木造化・木質化を進めています。

【蔵書移動作業の様子】



司書の河合先生からは、今回の図書館木質化工事に期待することとして、次のような言葉をいただきました。

- 木質化により、今まで以上に居心地の良い空間となり、池田高校にしかない、長く利用してもらえる図書館となってほしいと思います。
- 新たな図書館は、学習や調べものの場として、心休まる場として、広く活用してもらえると思います。今まであまり図書館を利用しなかった人も、リニューアルした際には見学に来てほしいです。
- 床・柱が木質化され、カウンターも新たになり、大きく雰囲気が変わる図書館を、新鮮な気持ちで利用してもらえると思います。また、より使いやすいよう、様々な工夫が施されます。レイアウトや展示なども新たにし、多くの情報発信をする図書館に、ぜひ一度足を運んでみてください。



新学習指導要領ではアクティブ・ラーニングが大きな柱となり、主体的・対話的で深い学習の実現のために、学校図書館の積極的な活用が期待されています。

本校図書館も、従来の「読書センター」の役割に加えて、「学習センター」「情報センター」としての役割を果たしていくために、電子図書などの蔵書や資料の多様化も課題となるでしょう。

生徒の皆さんが、木質化によって木の香り漂う快適空間となる図書館で、読書や調べ学習、グループ学習を積極的に行ってくれることを期待しています。



【木質化工事の様子】